

2019 8/13・27合併号

No.2096・2097

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



横浜市金沢区の横浜・八景島シーパラダイスでシロイルカが水を吹き掛ける催しが人気を集めている。9月1日まで。午前11時からと午後2時45分からの2回。水族館の入館料が必要。問い合わせは、シーパラダイス電話045(788)8888。



政経かながわ

2019 8/13・27合併号
No.2096・2097

contents

| | |
|--------------------------------|----|
| 視点・点描 | 3 |
| できることから始めよう | |
| 講演録 | 4 |
| 継続か刷新か、注目の改造人事 ポスト安倍占う幹事長 | |
| 社会 | 8 |
| 世界に広がれ！日本の箸文化 2本の棒の可能性 | |
| デモクラシーの現場から 第9回 | 10 |
| 参院選で勝ったのは誰か | |
| くらし2019 | 12 |
| 空き室は「特養離れ」の証し？ | |
| 企業最前線 | 14 |
| 進化するスニーカーや紳士靴 衝撃吸収や滑りにくさアップ | |
| アジアの風 | 16 |
| 香港デモがあぶりだしたネジレ | |
| NNAアジア経済レポート | 17 |
| 神奈川景気データファイル | 18 |
| 神奈川景気データファイル | 19 |

事務局だより

◇2019年8月定例講演会 (神奈川新聞社共催)

8月29日(木)午後1時30分～
3時

横浜情報文化センター6階「情
文ホール」

講師はスポーツ庁長官の鈴木
大地さん

演題は「スポーツが変える。
スポーツが創る。」

◇2019年9月定例講演会

9月18日(水)午後1時30分～
3時

ロイヤルホールヨコハマ5階
「リビエラの間」

講師は中央大学法科大学院特
任教授の森信茂樹さん

演題は「消費税10% どうな
る景気」

【お知らせ】神奈川政経懇話会ではホームページ(www.kanagawa-seikon.jp)に会員コーナーを設けました。新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな情報を掲載します。問い合わせは事務局 ☎045(226)2121。

視点 点描



どきどきいっしょから始めよう

48・73%。

7月21日に行われた参院選の県内の投票率だ。50%を下回ったのは24年ぶりという。

争点があいまいで盛り上がりになかった、野党が選択肢を示せなかった、統一地方選と参院選が重なる^い多^い年選挙だった。低投票率の理由はいくつも挙げられそう。18、19歳の投票率は31・33%と

3年前に比べ15ポイント以上下がっており、「若者の政治離れ」

「主権者教育の不足」を理由に加える向きもあるだろう。だが、年長者を含め2人に1人が投票しなかったという結果から見れば、若者ばかりにその責を負わせるのは無理がありそう。

とはいえ、なぜ若い世代は投票に行かないのだろうか。

「正直、政治は分からない」「自分の1票では何も変わらない」「政治家は別世界の人」「政局ばかりでつまらない」。彼らから聞こえてくるのは、諦めや不信感だ。若者が政治から「離れ」たのではなく、もともと近しい存在ではない、というのが実像に近いのではないか。

そうした中で、パタゴニア日本支社（横浜市戸塚区）の取り組みは大いに参考になる。同支社は「従業員が投票に行きやすいように」と全国の全直営店で参院選の投票日を閉店にした。米カリフォルニア州の本社が昨年11月の中間選挙に合わせて全直営店を閉店にしたところ、「日本支社でも」と声が上がったという。

同支社によると、この取り組みは若い世代へのメッセージでもあるという。「投票に行かず、意思を示さずにいることで、将来『想

像していた世の中と違って』という事態になりかねない。若者に社会のことを考えるきっかけを提供できれば」と同支社。選挙期間中、選挙に関する参加型トークイベントも店内で開催した。

「ポスターで決めた」「直感で選んだ」という投票先の選択も、若者らしい。軽やかさを受け止めたい。棄権するよりよほど前向きで、自身の投票行動がどのような結果につながったのか、「自分ごと」として検証できるからだ。

社会は簡単には変わらない。それでも投票所に行くことは、自分の将来をつくり出す第一歩。そんな姿を、会社の上司や先輩、親が当たり前のように若者に見せ続ける。批判の矛先を外に向けるより、自分たちができることから始めたい。

（神奈川県新聞社報道部長

佐藤 奇平）